

調査対象物質	分析法フローチャート	備 考
[8]ジイソプロピルナフタレン	<p>【水質】</p> <pre> graph TD A[水質試料 1,000mL] --> B[振とう抽出 塩化ナトリウム 30g ヘキサン 10mL] B --> C[ヘキサン抽出液採取 パスツールピペット] C --> D[クリーンアップ 硫酸処理 必要に応じ] D --> E[脱水 無水硫酸ナトリウム] E --> F[濃縮 窒素バース 200μLまで] F --> G[定容 200μL] H[内標準添加 HCB-13C6 500μg/L 20μL] --> G G --> I[GC/MS-SIM] </pre> <p><注>次に示す方法を採用した例もあった。 1.測定機器としてGCはHP6890、MSはMAT95XL、分離カラムはDB-17MSを使用し、GC/HRMS-SIM-EIで測定した。 2.ガロン瓶(4L容)の試料の全量を2分し、内壁をメタノール洗浄した洗液も試料に併せて、それぞれヘキサン50mLで振とう抽出した。 3.測定機器としてGCはVarian 3800、MSはVarian 2000を使用した。</p> <p>「平成18年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p><分析原理> GC/MS^{注1}-SIM</p> <p><検出下限値> 【水質】(ng/L) [8] 1.5</p> <p><分析条件> 機器 GC : HP 5890^{注1 注3} MS : JMS-AMII 150^{注1 注3} カラム SUPELCOWAX 10^{注1} 30m×0.32mm、0.25μm</p>